



いもにかい



実施日：令和4年10月26日
対象児：全園児

芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600年代半ば頃の江戸時代遡ります。
山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。
船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。



芋煮会は各クラスが携わり豚汁作りをしました。畑で育てた里芋、チンゲン菜も収穫し使いました。2歳児はしめじさき、3歳児は白菜ちぎり、4歳児はこんにゃくちぎり、5歳児は大根とにんじんを包丁で切り、芋煮汁が完成です。晴天で、大きな鍋でつくる過程を見たり、出来上がりまで野菜クイズをしたり、楽しい時間を過ごしました。3歳児以上は自分たちでおにぎり作りにも挑戦し、混ぜ込みご飯や好きな具を選びました。3歳児以上は戸外で食べ、東北らしい芋煮会を行い沢山の笑顔がみられました。 園長 小川

Menu

おにぎり

鮭の塩焼き

ほうれん草のおかか和え

芋煮汁





